

園だより

2023年11月 取手幼稚園

取手幼稚園では数年前に行事のあり方について時間をかけて話し合いました。行事の成功の為に遊ぶ時間を減らして練習をしたり作品作りをしたり。多くの保育施設でこのような考え方でやってきた（そして今もやっている）と思います。でも本当はそうではなく、日々の保育が何よりも大切に、そのなかで楽しみながら行事に向けて期待を持っていくことが、子どもの「主体性」につながり、行事を終えた後の「達成感」につながることはないかと考えました。主体性と達成感とは「生きる力」につながります。こどもたちには「希望を持って生きていく力」を育ててほしいと願っています。命に関わる程の暑い日々がやっと終わり、心地よい風の中、園庭で思い切り遊ぶ0歳から6歳の姿が見られます。また自然の多い近隣へお散歩に出かけて全身で秋の訪れを感じています。幼い子どもたちの命が奪われる連日の悲しい報道に心が痛んでいます。園庭で無邪気に遊ぶ子どもたちの笑顔を見ながら世界中の全てのこどもたちの健やかな心と体の育ちを願ってやみません。

〈園長小林路津子〉

園主題 『いっしょに生きていく』

年間の主題	『ともにつむぎだす ～希望の中で～』
11月のねらい	「深まる」「どれがいい」「みつける」

〈保育の願い〉

ばらぐみ	① 思いを伝えあい遊ぶ中でうまくいなくて困る経験や、気持ちを通じ合う喜びを感じる ② 五感を通して秋の実りや季節の移り変わりを感じ感謝の思いを分かち合う
すみれぐみ	① 考えを出し合い、興味・関心のあることについて調べ試しながら作ることを楽しむ ② 秋ならではの自然物を見つけ、遊びの中に取り入れたり、発展させながら季節感を味わう
たんぽぽぐみ	① 友達と同じイメージを持って、遊び続けることも嬉しくなる ② 秋の自然物を集めたり、触れたり並べたりして、楽しむ
ももぐみ	① 自分で考えたことや思ったことを言葉にして表す ② 秋の自然に触れ、散歩や簡単なごっこ遊びを楽しむ
すずらんぐみ	① 自然の恵みを感じ、また触れて遊びや生活の中に取り入れる ② 意欲的に身の周りのことを自分で行おうとする
つぼみぐみ	① 興味、探求心が深まり、活動的になる ② たくさんの自然物に触れ、喜ぶ

〈11月の予定〉

1日(水) 英語の日(幼児クラス) ありんこくらぶ	16日(木) 作品展(幼児クラス)
2日(木) 歯科健診	20日(月) お誕生会
3日(金) 文化の日(休園日)	21日(火) 内科健診
8日(水) 体操の日(幼児クラス) ありんこくらぶ	22日(水) 体操の日(幼児クラス) ありんこくらぶ
9日(木) 尿検査再提出日(未提出者)	23日(木) 勤労感謝の日(休園日)
15日(水) 英語の日(幼児クラス) ありんこくらぶ	24日(金) 収穫感謝礼拝(幼児クラス)
	28日(火) アドベント礼拝(幼児クラス)
	29日(水) ありんこくらぶ

※24日(金) 収穫感謝礼拝と28日(火) アドベント礼拝の日程を変更しました。年間行事予定とは異なっています。(どちらも保育の中で行います。)

〈歯科健診・内科健診について〉(全園児)

- ・2日(木)に歯科健診、21日(火)に内科健診があります。
- ・欠席の場合、後日各医院にて健診を受けていただくこととなります。
- ・体調不良以外では出来るだけ欠席しないでこの日に園で健診を受けていただけますようお願いいたします。

〈収穫感謝礼拝について〉(幼児組)

- ・取手幼稚園では毎年、キリスト教の暦に倣い収穫感謝礼拝を行っています。
- ・秋の実りに感謝し、豊かな自然に恵まれて生かされていることを神様に感謝します。
- ・身近で働く人たちにも感謝を伝え、お世話になっている地域の方に日頃からの感謝のお手紙をお届けに行きます。

〈オータムフェスティバル(作品展)について〉(幼児組)

- ・子ども達の作品をご覧いただいたり一緒に製作をしたりして、楽しいひとときとなればと考えています。詳細は別紙にてお知らせいたします。

〈石引写真館さんによる運動会の写真について〉

- ・クラスごと集合写真は本日配布しています。写真代660円を集金させていただきます。スナップ写真はネットにて石引写真館さんに直接お申し込み下さい。別途配布しております〈写真ネット販売のご案内〉をお読みください。

11月生まれのおともだち

7日 ☆☆☆☆☆くん . . . (たんぽぽぐみ)

31日 ☆☆☆☆☆くん . . . (たんぽぽぐみ)

おたんじょうびおめでとう!

今月の聖句

わたしは、主が与えられた地の実りの初物を、今、ここに持って参りました。

申命記 26章10節

クラスみにみに通信

《ば ら ぐ み》

「悪知恵」と言うと、言葉としては少し聞こえが良くないでしょうか。けれどこの悪知恵も賢くなければつかない「知恵」です。そして時には叱られる。このことは本当に大切な体験だと思っています。ここのところ、ぐんと成長してますます面白くなってきました。人数の少ないこのクラスは自然と全員で遊ぶことが多く、最近ではこおりおに、だるまさんがころんだ、かごめかごめなどの遊びが自由遊びの時間に繰り広げられています。鬼になりたくてわざと捕まろうとしたり、負けそうになると「やめるね～」と言ってその遊びから抜けようとしていたり、小さな頭の中で生きるためにいろいろなことを考えているのだなと感心するほどです。

でもちょっと違うよね。一緒に遊んでいるお友達はどんな気持ちかな。そんなことを話しながら時には喧嘩をし、仲直りをしていい時間を過ごしています。

《す み れ ぐ み》

ますます深まる秋を感じながら、自然との触れ合いを楽しんでいる子どもたち。運動会が終わり、子どもたちの顔つきも一回りお兄さん・お姉さんになったような気がします。お忙しい中、運動会へのご参加ありがとうございました。保護者の皆様の温かい声援に、子どもたちにとって思い出に残る1日となりました。今年の運動会は本当に感動の連続でした！幼児組3クラス合同でお互いの競技を見たり、応援したり、一緒になって踊ってみたり。そんな子どもたちの姿を見てなんだかほっこりしてしまいました。すみれぐみダンス「ポポポポーズ」では練習の時は、気分が乗らず踊らない姿やフラフラ～っと他の所へ行ってしまう事などありましたがさすがすみれぐみさん！当日のダンスが今までの中で1番上手でカッコよくて私も前で踊りながらうるうるしてしまいました…。今回の運動会で経験した事が今後の子どもたちの成長の支えになってくれると嬉しいです！今月は作品展があります。子どもたちと海をテーマにああでもないこうでもない話し合いながら進めています。話し合いの中で意見の衝突もちろんです、お互いに案を出し合ったり譲り合ったりする姿もあります。そんな子どもたちと、楽しい思い出に残るような作品展になるよう、日々取組みを進めていきたいです。

《た ん ぽ ぼ ぐ み》

運動会では、朝泣いて登園していた子も、気持ちの切り替えが上手に出来て、競技中は、全員が楽しく参加し、終始笑顔が絶えないひと時でした。子ども達の心身の成長は、行事を通して見える事が沢山ありますが、その度に感動を頂いています。これからも、沢山の成長のサポートを全力でしていけたらと、改めて思った一日でした。

また、気温の変化が激しく、体調を崩していた子ども達でしたが、やっと気候のペースに乗れて、安定してきました。まだまだ小さなたんぽぽ組の子ども達ですので、体にムリの無い様、幼稚園でも過ごしますが、ご自宅(特に週末)でも、お子様の様子を見て、のんびり過ごすなどの、ゆったりタイムを作ってみて下さいね。

《も も ぐ み》

今月も沢山お散歩に出掛けました。落ち葉を踏む音や感触が面白くて何度も同じ所を足踏みしたり、すりすり足を引きすりながら歩いたりしていました。どんぐりや赤い木の実、カマキリやバッタなどの虫を見つける度に立ち止まり捨ったりじっくり観察をしたりしています。発見した虫や木の実が人数分ないと取り合いになっていましたよ。先日、お散歩中に拾ったものを入れるバッグを子ども達が自分で作りました。色画用紙をはさみで切り落とす作業も取り入れました。はさみを子ども達の目の前に出すと目をキラキラ輝かせて「やりたい、やりたい。」と近寄ってきました。普段なかなか触れる機会がないからかもしれませんね。はさみの持ち方や紙の持ち方など危ないところはありますが子ども達のやりたい気持ちを受け止め、サポートしながら取り入れていきたいと思います。

《す ず ら ん ぐ み》

お友達と遊ぶことやかかわりを持つことがとても楽しいようで、お話している姿・遊ぶ姿をよく見ます。お部屋では畳の上で保育者と一緒にわざとドテッと転ぶのが楽しく、子どもが自ら保育者の手を取り「やるよ！」と言わんばかりの笑顔で誘ってくる姿がとても可愛いんです（笑）急に始まるにらめっこやかくれんぼ。一人が始めると違う場所で遊んでいた子も近寄り一緒になって遊び始めます。にらめっこは色々なレパートリーを覚えたようで次々と変顔を披露してくれます！お散歩に行くことも増え、先日はご近所の金魚のいる池でエサやりを体験させていただくことが出来ました。近づいてくる金魚をじっと見て触ろうとするとすぐ逃げるのが面白くて笑っていました。どんぐり拾いでは袋いっぱいに入れる子や、厳選して自分のポケットに入れる子など様々でした。今月も秋を感じながらお散歩や外遊びを楽しみたいと思います。

《つ ぼ み ぐ み》

秋らしくなり、雲がゆっくり流れる様子を子どもたちと「綺麗ね～」と眺めたり、気持ちよく通り過ぎる風を感じたりして過ごしています。月齢の高い子ども達は、滑り台の階段を登り、吊り橋前でベンチに座ってみたり、吊り橋を渡れるようになった子は、どんどん滑り台を滑って最後豪快にピョンと跳ねる事を楽しんだり、月齢の低い子たちは、その下の日陰で、レジャーシートを敷いて、お砂遊びを楽しんでいます。ハイハイして両手でお砂の感触を味わったり、スコップでかき回してみたりも楽しそうです。大きな幼児組のお姉さん達と一緒にレジャーシートと長椅子を並べると異年齢交流が始まって、「はい、アイス屋さんですよ、何味がいいですか？」と聞かれ、言葉では答ええないなりに、お姉さんやお兄さんが、「じゃ、いちごのアイスね、どうぞ。」など、ご馳走してくれます。「ナナッ！！」とバナナ味をお願いする姿も。お姉さんを真似して成長していく姿も楽しみですね。

※ Web配信の「園だより」では、個人情報保護の観点から、一部のお名前の表記を伏せ字(☆☆☆☆☆☆)とさせていただきます。